

みずほCustomer Desk Report 2018/06/28号(As of 2018/06/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.13	1.1649	128.28	1.3218	0.7392
SYD-NY High	110.49	1.1672	128.33	1.3234	0.7407
SYD-NY Low	109.69	1.1540	127.27	1.3106	0.7323
NY 5:00 PM	110.26	1.1554	127.43	1.3115	0.7341
NY DOW	24,117.59	▲ 165.52	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,445.09	▲ 116.54	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,699.63	▲ 23.43	米国2年債	2.5060	▲ 2.48bp
日経平均	22,271.77	▲ 70.23	米国5年債	2.6978	▲ 4.77bp
TOPIX	1,731.45	0.38	米国10年債	2.8256	▲ 5.02bp
シカゴ日経先物	22,165.00	▲ 170.00	独10年債	0.3205	▲ 1.85bp
ロンドンFT	7,621.69	83.77	英10年債	1.2450	▲ 5.70bp
DAX	12,348.61	114.27	豪10年債	2.6380	1.15bp
ハンセン指数	28,356.26	▲ 525.14	USDJPY 1M Vol	7.38	0.23%
上海総合	2,813.18	▲ 31.33	USDJPY 3M Vol	7.68	0.07%
NY金	1,256.10	▲ 3.80	USDJPY 6M Vol	8.12	0.14%
WTI	72.76	2.23	USDJPY 1M 25RR	-1.11	Yen Call Over
CRB指数	198.95	1.70	EURJPY 3M Vol	9.16	0.06%
ドルインデックス	95.27	0.61	EURJPY 6M Vol	9.33	0.18%

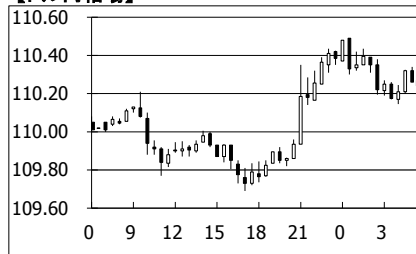
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	17:30	英 カーニーBOE総裁 講演「EU離脱時に巨額のデリバティブ清算に混乱も、対策急務」		
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 0.5%	0.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月 -0.6%	-1.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	5月 -0.3%	0.5%
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	5月 -0.5%	0.5%
6月28日	00:00	米 クオールズFRB副議長 講演「米国のFSB参加は適切」		
	01:15	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演「失業率下がりすぎ、より柔軟なインフレ目標を」		

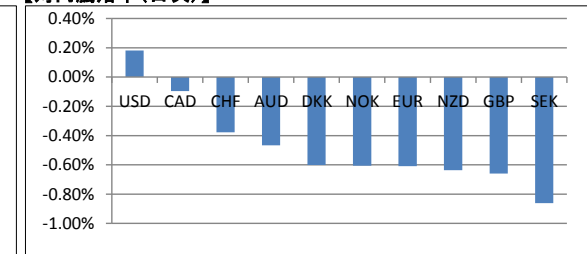
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月28日	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	218k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・確報	1Q 2.2%	2.2%
	21:30	米 個人消費・確報	1Q 1.0%	1.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・確報	1Q -	2.3%
	23:45	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
6月29日	01:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50—110.50	1.1500—1.1600	127.00—128.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は上昇する展開となった。東京時間に109円台で推移していたドル円は、米5月耐久財受注の結果が予想を上回ったことを受けて110.49まで上昇。その後、クロー米NEC委員長の発言を受けてドル売りとなるも110円台は維持した。本日はドル円の上値が重い展開を予想。昨日インフレ上昇への要因となりうる原油価格上昇がみられたものの米金利、ドル円ともに影響は限定的であったことを踏まえると、明日に四半期末を控えて実需フローも意識される環境下、ドル円が上昇したところでは売りが入る可能性があるとする。

東京	東京時間ドル円は110.13レベルでオープン。前日からの底堅い推移が続く中でオープン直後に東京時間高値となる110.21まで上昇するも、四半期末のスポット末日ということもあり、その後は本邦勢による円買いフローが散見される展開に109.77まで反落。日経平均株価も下げ幅を回復する中、実需フローも一巡するとドル円は下げ止まり109円台後半での上値の重い展開。一時110円台を回復する場面が見られるも、米長期金利の低下も相俟ってドル円は上値重く、結局109.93レベルにて海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は上昇した。109.93レベルでオープン、トランプ米大統領が中国投資制限で最も厳しい措置は取らない意向を示したとの報道に米中貿易摩擦懸念がやや後退。ダウ先物が上昇に転じるとドル円相場も反転する格好から110.35まで上昇。その後も高値圏での推移となり110.20レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは下落した。1.3224レベルでオープン。英6月住宅価格が前年比2.0%(前回2.4%)と5年ぶりの低い伸びとなり、プレジデントを控える中で景気先行不安が強まり1.3166まで下落。1.3190レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は109.80近辺を推移するが、トランプ米大統領が想定より穏健な手段で中国投資の抑制を行うことを表明したこと、米中貿易摩擦懸念により積み上がっていた円買いが巻き戻され110.35まで急上昇し、110.20レベルでNYオープン。オープン直後にNY時間安値の110.14をつけるが、ダウ先物の堅調推移と朝方発表された米5月耐久財受注が予想ほど悪化せず、前月分も上方修正されたことを受け、ドル買い優勢となりこの日の高値となる110.49まで上昇。午後は外ロー米NEC委員長が「トランプ米大統領は中国に対する姿勢を緩めていない」と述べ貿易摩擦懸念が再燃。米株の戻り売りが強まりダウ平均がマイナス転換する中、ドル円も110.15まで下落する。終盤は110.25近辺で推移し、結局110.26レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1650近辺を推移するが、NY早朝からドル買いが優勢となり1.1608をつけ、1.1627レベルでNYオープン。朝方はドル買い優勢な展開で一時1.1600を割り込み、1.1594をつける。その後、1.1613まで戻す局面もあったが、翌日のEU首脳会議に欧州難民問題について協議される予定となる中、メルケル独連立政権のキリスト教民主同盟(CDU)とキリスト教社会同盟(CSU)は移民政策で対立しており、ドイツの政局不安が意識されるとユーロ売りが強まり1.1540までじりじりと下落。終盤は1.1561まで戻し、1.1554レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山本・鶴田